

第2回クロマティックハーモニカフェスティバルin九州

2023年11月12日(日)

順番	演奏者等	演奏曲	教室
51	<p>目標:感情を込めて伸びやかに吹く。 結果:まだ表現力が不足しており、もっと練習が必要です。</p> <p>今回は、『逢いたくていま』に挑戦します。今から14年前の曲になります。この曲は、MISIAが鹿児島県の知覧特攻平和会館を訪れ、特攻に行く前に書かれた兵士の手紙を読んで作られた楽曲だそうです。「今を大切に生きること」というメッセージも込められているそうです。今日、皆さんの前で演奏できる事に感謝しながらハーモニカを吹きたいと思っております。よろしくお祈りいたします。</p>		
52	福岡教室合奏	河はよんでる(3重奏)	福岡
<p>「河は呼んでる」は、1957年の同名のフランス映画の主題歌・シャンソンです。3拍子の曲で、耳にも心地よいメロディであり、NHKのみんなのうたでもうたわれています。みなさんも聴かれたことがあるかもしれません。今日は、3部のパートに分かれて演奏します。ハーモニカのアンサンブルをお楽しみください。</p>			
53	福岡教室合奏	紅葉(3重奏)	福岡
<p>「紅葉(もみじ)」は、1911年(明治44年)の「尋常小学校唱歌」として発表されました。今の季節にぴったりの曲です。学校では合唱を勉強する曲でもあり、二部合唱をした方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今日は、3部のパートに分かれて演奏します。ハーモニカのアンサンブルをお楽しみください。</p>			
54	清水由美 & 中島一夫	情熱大陸、川の流れるように 外	講師
<p>やっとやって来ました第2回クロマティックハーモニカフェスティバル！！ このイベントが一美塾発表会と違うところは、お客様第一だということです。とにかく一般の方にクロマティックハーモニカという楽器を知ってもらわなければ話になりません。そしてこのイベントをきっかけに愛好者が増えればいいですね。</p> <p>各教室を回って感じることは、フェスティバルが近づくにつれて皆さん一様に真剣な眼差しとなりレベルが上がっていることです。</p> <p>今日は皆さんの日頃の練習の成果を思う存分発揮してください。途中で間違っても動揺しない、でんと構えておくことが大事です。演奏の途中で間違っ、「間違ってしまった！！ あらどうしよう。」と弱気になるか、「間違ってしまったのは仕方がない。とにかくやりぬくぞ！！」と強い気持ちを持つか、その心の持ちようが分かれ目ですね。皆さん！！ 後者の気持ちを持って舞台上に臨みましょう！！ 努力は決して裏切らない！！ (清水由美)</p> <p>一美塾ではこれまでに3人の方が旅立たれました。龍田教室の大野澄江さん、大善寺教室の森光富士雄さん、そして9月に亡くなられた筑紫野教室の野見山逸子さんです。</p> <p>大野さんとの出会いは20年以上前です。徳永ハーモニカ教室の発表会で知り合い、年に2回の発表会でお会いするのを楽しみにしていました。その後、私たちは徳永教室からだんだんと足が遠くなったため、大野さんとも疎遠になりました。そしてその後、大野さんが娘さんを頼って熊本市に移り住まれることになりました。ちょうどその頃私たちは、熊本の龍田教室を立ち上げたばかりでしたので、タイミングよく大野さんにも入会していただきました。このときばかりは人との出会いの不思議さというものをつくづく感じました。大野さんとは教室で一緒に活動を続けていましたが、その後体調をこわされて2年前に旅立たれました。病院にも数回お見舞いに行きましたが、最後はコロナ禍の状況で会うことができず残念でした。</p> <p>大野さんはクロマティックハーモニカを若い人たちに普及させなければならないという強い使命感を持たれていました。これは清水と私の気持ちと通じるところがあり、大野さんを頼もしくそして心強く感じたものです。</p> <p>また森光富士雄さんと野見山逸子さんはクロマティックハーモニカをこよなく愛し、地道な練習を続けながら発表会やその他のイベントにも積極的に参加していただきました。お二人は教室の生徒さんからの信望も厚く、残念でなりません。3人の方々は一美塾の教室運営に多大な貢献をしていただきました。改めてご冥福をお祈り申し上げます。</p> <p>一美塾では、ハーモニカ道を全うされた3人の方々をホームページで顕彰したいと考えています。近いうちに公開します。(中島一夫)</p>			